(19)日本国特許庁(JP)　(12)公開特許公報(A)　(11)特許出願公開番号
特開2012-17962
(P2012-17962A)
(43)公開日　平成24年1月26日(2012.1.26)

(51)Int.Cl.			F I			テーマコード（参考）
F41H	1/02	(2006.01)	F41H	1/02		3C007
B25J	5/00	(2006.01)	B25J	5/00	C	3C707
B64G	6/00	(2006.01)	B64G	6/00		

審査請求 未請求　請求項の数 1　書面　（全 4 頁）

(21)出願番号　特願2010-181454 (P2010-181454)
(22)出願日　平成22年7月7日 (2010.7.7)

(71)出願人　509085490
古西　祐貴
千葉県千葉市稲毛区小仲台８－２２－２－３０１
(72)発明者　古西　祐貴
千葉県千葉市稲毛区小仲台８－２２－２－３０１

Fターム(参考)　3C007 AS29 CS08 WA03 WA13 WA21 WC19
3C707 AS29 CS08 WA03 WA13 WA21 WM19

(54)【発明の名称】マーシャロイド（ＭＡＲＴＩＡＬＯＩＤ）

(57)【要約】
【課題】宇宙で生体が生存競争するためのマーシャルアート（ｍａｒｔｉａｌ　ａｒｔ）のメカニズムを有していて、勝負服一式の型で、宇宙へ生体が遠征するためのヒューマノイドロボットが今までなかった。
【解決手段】宇宙へ生体が遠征するためのヒューマノイドロボットに宇宙で生体が生存競争するためのマーシャルアートのメカニズムをそなわせたり、ヒューマノイドロボットを勝負服一式の型にしてヒューマノイドロボット本体内にヒューマノイドロボット本体内の生体が呼吸したりヒューマノイドロボット本体内の温度を調節するためのあたたかいもしくはつめたい酸素を自動で入れるためのメカニズムと酸素の入れ物を有する密室製の生命維持装置をそなわせたりすることでヒューマノイドロボットを用いて宇宙へ生体が遠征することが出来るようになる。
【選択図】図１

